

科学技術イノベーション(STI)政策 専修コースとは

長引くデフレ不況の克服、震災からの復興、少子高齢化に向けた社会システムの転換、国家的な情報セキュリティの高度化、地球環境問題への対応—こうした諸課題を解決していく上で、いま日本はこれまでにないほど科学技術イノベーションの持続的な創出を必要としており、その政策を立案・実行できる人材が求められています。このような人材ニーズに応えることを目的に、文部科学省は平成23年度より「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』推進事業」の一環として、「基盤的研究・人材育成拠点整備事業」を開始しました。

この事業に採択された九州大学の構想を推進するため平成24年4月に科学技術イノベーション政策教育研究センター(CSTIPS)が発足し、同センターは平成25年度から「科学技術イノベーション政策専修コース」(以下STI政策専修コース)を開講いたしました。

STI政策専修コースは、①客観的な根拠(エビデンス)に基づいて政策を立案・実行できる高度専門人材、②科学技術イノベーション政策のための科学を専門領域とする研究人材、③自らの専門領域と科学技術イノベーション政策をつなぐ人材の育成を目的としています。

本コースのカリキュラムは、コア科目群と固有科目群によって構成されています。コア科目群は、政策過程や政策分析に関する基礎知識等を習得するための科目と、それらを政策立案に応用する実践的能力を養うための科目からなり、固有科目群には本学拠点のフォーカスである「東アジア」、「地域」、「環境」等に関連する展開科目が含まれています。

STI政策専修コースは、九州大学の全大学院生が受講できます。また、履修条件を満たす社会人も、科目等履修生として受講することが可能です。

